

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
滋賀県東近江市	250007	1	平成 20 年度～ 平成 23 年度	平成 20 年度～ 平成 23 年度
活性化計画の区域				
滋賀県東近江市 柴原南町北部地区				

1. 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能確保	11.8ha	11.8ha	100	

(コメント) ほ場を大区画化することにより営農条件の改善を図り、農業用排水路等の機能確保が図られている。このことにもない地域人口の減少率も改善されたと考える。

2. 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
区画整理	区画整理 (A=12.4ha) A=11.8ha		東近江市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
柴原南あすなろ ファーム	平成 20 年度	平成 23 年度	平成 21 年 7 月
事業の効果			
ほ場の大区画化による大型機械導入が可能となり、労務費および機械経費のコスト削減による営農経費節減効果がみられ、農業経営向上が図れる。また、用水路の整備により水管理改良効果や畑作物の生産効果がみられ、あわせて維持管理費節減効果もあり農業生産向上が図れる。			

3. 総合評価

(コメント) ほ場の大区画化や農業用水路施設整備、農道の拡張などの農業生産基盤の再整備を進めることで、生産性の高い優良農地の確保と保全および農業施設の機能確保、維持管理の軽減が図れ、効率的かつ安定的な農業経営をおこなうことができるとの期待から地域人口の減少率数値の低減で示されるように定住の促進が図れたものとする。

4. 第三者の意見

(コメント) 事業の取組みにより、担い手育成および効率的かつ安定的な農業経営の向上につながることから、将来にわたる地域農業への期待感が地域人口の減少率数値の低減に一定寄与したのではないかと考える。当事業を契機に担い手育成、施設の適正な維持管理ならびに魅力ある地域づくりへの活動継続が必要と考える。(上平木町土地改良区 理事長 角 久三郎)